

Heartful Day

北条高校人権委員会
平成29年10月18日
No. 114

外国人の人権を尊重しよう — みんなちがって、みんないい —

- 最近、我が国に入国する外国人は長期的に増える傾向にあります。こうした中、言語、宗教、文化、習慣等の違いから、外国人をめぐる様々な人権問題が発生しています。
- 東京都内で行われたデモにおいて、特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動が公然と行われていることが、マスコミ等によって「ヘイトスピーチ」であるとして取り上げられている状況となっています。



- あなたは、次のような行為をしたり、他人がしているのを見たことはありませんか？
 - × 外国人を見かけた時に、じろじろ眺めたり、珍しいものを見たような感じで見ると。
(→ 自分が見られたら、どういう気持ちになるでしょうか。)
 - × 欧米系の人に対しては、あこがれの感情を抱き、アジア系の人に対しては軽蔑するような気持ちになる (→ なぜこのような気持ちを抱くのでしょうか。)
 - × 外国人があなたに話しかけようとした時に、逃げようとする。
(→ 相手は困っているのかもしれませんが。英語が苦手でも、勇気を出してコミュニケーションをとってみましょう。)
 - × 乗り物の中で、外国人が座っている隣の席が空いていても、避けて座らない。
(→ 立場が逆だったら、寂しくありませんか。)

日常生活における習慣の違いにどのようなものがあるか、考えてみました。

項目	日本	外国
履き物	・家庭内では必ず脱ぐ	・就寝時まで脱がない国が多い
食事	・箸が中心である	・ナイフ、フォーク、素手を使う
あいさつ	・お辞儀が多い	・握手、ハグ、キスをする
自己主張	・自分の意見をあまり言わずに周囲に合わせようとする	・自分の意見を堂々と主張して、白黒をはっきりとさせる

(担当生徒の感想)

- 肌の色、言語、習慣が違うだけで差別することは、人として恥ずかしいことである。
- もし、自分が差別されたら、つらくてどうしたらよいか、途方にくれると思うし、日本人のことを嫌いになってしまうと思う。
- 人と違っているということは悪いことではなく、個性としてとらえて尊重して、みんなが仲良くするべきだと思う。

(担当生徒からの提案)

- 2020年に、東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることが決定しており、観光で愛媛県を訪れる人たちも、ますます増加することが予想されます。
- 外国人に対する偏見や差別をなくするために、文化の多様性を認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重するとともに、お互いの人権に配慮した行動をとるようにしましょう。

最後に、金子みすずさんが作られた「わたしと小鳥と鈴と」の詩を朗読したいと思います。



わたしが両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は、わたしのよう、地面（じべた）をはやくは走れない
わたしがからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は、わたしのよう、たくさんうたは知らないよ。
鈴と、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

次回の放送は、11月15日（水）です。お楽しみに 担当：3年4・5組 人権委員